

## パネルディスカッション3 企画概要

タイトル	事務ノウハウの結集が支える在宅医療の面展開 ～ 診療に貢献する医療事務を目指して（その1：書類編） ～
------	--

### 概要

「事務ノウハウの結集が支える在宅医療の面展開」と題して、全国の在宅医療機関で活躍している事務系職員に光を当てる企画を行う。医療事務も医師や看護師と同様に診療に貢献するために業務に従事しているのであり、在宅チームの一員として縁の下の力持ちの役目を担っている。そこで、副題として「診療に貢献する医療事務を目指して」を掲げ、事務系職員が積み重ねてきたノウハウの結集を図る。

第1回の今回はテーマとして「在宅医療にまつわる様々な書類」を取り上げる。診療報酬の算定要件や介護保険法上作成が定められている様々な書類がある中、そのひな形が提示されていない書類も少なからずあるため、医療機関は独自の様式を作成して運用することになる。結果として、同じ趣旨であっても医療機関ごとに使用している様式やその運用方法はまちまちである。在宅医療には連携先が多いという特性があるため、医師がペーパーワークに忙殺されてしまうということになりかねない。その負担を最小化し本来業務に専念できるよう医療事務は様々な工夫努力を重ねてきているはずである。書類作成に費やす医師の負担を軽減させるために、「前回発行した書類に医師が赤ペンで加筆修正を行い、それを受けて事務が完成させ」たり、「記載内容を医師がボイスレコーダーに録音しそれを事務が電子的に入力する」、「個別指導での指摘内容に対応した様式に修正した」などといった具合である。

そこで、全国の在宅医療機関に協力を呼びかけ、独自開発した書類様式（診療録1号用紙や在宅療養計画書、居宅療養管理指導報告書、介護保険にかかる契約書、その他外部との連携に使用している指示書や報告書等）を本会場内にパネルの形で展示してもらう（パネルは当日14時から本会場内に掲示し、本企画終了後はポスターセッション会場に展示する予定）。在宅医療機関の第一線で活躍している事務系職員にご登壇いただき、展示されたパネルの内容を題材として、その作成意図や運用方法等について実践者目線での討論を行う。

在宅医療に貢献しようと真摯に尽力している事務系職員の活動成果やノウハウが本学会を通じて形成される全国的なネットワークによって結集され、さらに洗練、発展していくことを目指すべく、このような企画を立案した。一人でも多くの事務系職員の来場を期待したい。